



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	279,982	0.5	26,622	10.0	27,811	△2.1	17,271	△3.3
22年3月期第3四半期	278,630	0.4	24,209	25.7	28,402	25.5	17,856	114.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	156.08	155.87
22年3月期第3四半期	152.92	152.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	418,743	275,658	64.4	2,436.98
22年3月期	408,410	271,951	65.2	2,406.26

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 269,696百万円 22年3月期 266,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
23年3月期	—	35.00	—		
23年3月期 (予想)				35.00	70.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	5.1	34,500	26.2	38,000	15.9	22,000	7.3	198.79

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

【添付資料】P. 4「2. その他の情報（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご参照下さい。

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	117,463,685株	22年3月期	117,463,685株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	6,795,483株	22年3月期	6,813,604株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	110,664,516株	22年3月期3Q	116,769,339株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益は概ね改善傾向にあるものの、円高による輸出競争力の低下、厳しい雇用情勢、欧米の景気減速、特にEU諸国の財政不安の影響を受け、力強い回復局面には至りませんでした。

当社グループのコア事業である国内の即席めん業界においては、緩やかなデフレ傾向の中で、消費者の生活防衛意識は依然として高く、低価格志向の状況が続きました。また、9月上旬まで続いた記録的な猛暑の影響を受けて、消費は低迷しました。

このような厳しい販売環境下で、当社グループは、引続き多様化する消費者ニーズに対応した商品開発を行い、当社の技術力とマーケティング力を結集して、品質向上に努め、新価値商品の提案を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.5%増の2,799億82百万円となりました。これは、国内において新しい技術を応用した商品が好調に推移したことによるものです。

営業利益は退職給付費用の減少により、前年同期比10.0%増の266億22百万円となりました。経常利益は為替差損の発生により前年同期比2.1%減の278億11百万円となりました。当四半期純利益は前年同期比3.3%減の172億71百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	対前年同期	
	自平成21年4月1日 至平成21年12月31日	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	金額	%
売上高	278,630	279,982	+1,351	+0.5
営業利益	24,209	26,622	+2,412	+10.0
経常利益	28,402	27,811	△591	△2.1
四半期純利益	17,856	17,271	△584	△3.3

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

① 日清食品

当第3四半期連結累計期間の販売状況は、新技術の「3層太ストレート製法」を用いたノンフライめん「日清ラ王」を9月に新発売し、これが消費者に受け入れられ大ヒットとなったほか、「日清のどん兵衛」シリーズ、「日清太麺堂々」シリーズなど、太めん技術を基軸とした製品群が順調に推移しました。また、8月中旬に近畿地区で先行発売した電子レンジ調理専用・即席カップライス「カップヌードルごはん」は、当初計画していた販売数量を大幅に上回る売れ行きとなったため、同月下旬から販売を一時休止しましたが、急遽生産体制を整え、9月下旬から近畿地区で販売を再開し、好調に推移しております。

この結果、当期間の売上高は、猛暑の影響を受けた上半期の落ち込みを克服し、第3四半期に上記商品群等が大きく伸ばしたことにより1,455億67百万円となりました。営業利益は165億36百万円となりました。

② 明星食品

当第3四半期連結累計期間の販売状況は、9月に発売45年目を迎えた「明星チャルメラ」シリーズの品質、パッケージ、広告等を全面的にリニューアルしたことにより堅調に推移しました。また、同社子会社の西日本明星(株)神戸工場にノンフライタテ型カップめんラインを新設し、タテ型BIGサイズのカップめん「明星 佐野実 限定味噌らぁ麺」「明星 屋台のラーメン 一平ちゃん」や、1分で湯戻しできる「チョッパヤ バリカタ麺&トンコツ」を製造販売した結果、それぞれ好調な売れ行きを示し、CVSを中心に成長するタテ型BIGサイズカップめん市場で、安定した地位を占めることができました。しかしながら、上半期の猛暑による需要減等が影響したことにより、当期間の売上高は317億10百万円となりました。営業利益は売上高減少の影響により18億13百万円となりました。

③ 低温事業

当第3四半期連結累計期間の低温事業について、日清食品チルド(株)の販売状況は、上半期同様に「つけ麺の達人」シリーズが好調に推移するほか、「横手風焼そば」をはじめとするご当地焼そばも堅調に推移しました。また、9月に新発売した「有名店つけめん」シリーズも消費者の皆様へ受入れられ、好調な売上となりました。

日清食品冷凍(株)の販売状況においても「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズや「冷凍 日清 横手風焼そば」が上半期に引続き好調に推移しました。また、秋冬の新商品として発売した具付き冷凍らーめん「冷凍 日清のラーメン屋さんプラス」シリーズやご当地焼そば「冷凍 日清 北見風塩焼そば」も好調に推移しました。

この結果、低温事業における当期間の売上高は390億75百万円となり、営業利益は20億41百万円となりました。

④ 米州地域

当第3四半期連結累計期間の販売状況は、上半期同様に「Top Ramen」や「CHOW MEIN」「Bowl Noodles」「Souper Meal」が堅調に推移しましたが、「Cup Noodles」が苦戦した結果、売上高は197億45百万円となりました。営業利益は「Cup Noodles」の販売数量減に伴う利益減や小売価格の低下により10億60百万円となりました。

⑤ 中国地域

当第3四半期連結累計期間の販売状況は、既存品の袋めんと冷凍製品の販売額が減少しましたが、高価格帯製品が好調に推移しました。

この結果、中国地域の売上高は137億17百万円となりました。営業利益は原材料の高騰や販売費の増加等により10億13百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントについて、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は301億66百万円となり、営業利益は16億32百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べて103億33百万円増加し、4,187億43百万円となりました。これは主に設備投資により有形固定資産が162億7百万円増加する一方、有価証券の減少等により流動資産が33億54百万円減少したことや、投資有価証券の減少等により投資その他の資産が20億42百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ66億26百万円増加し、1,430億85百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等により流動負債が85億86百万円増加する一方、退職給付引当金の減少等により固定負債が19億60百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ37億6百万円増加し、2,756億58百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少により評価・換算差額等が60億94百万円減少したものの、利益剰余金が94億83百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は64.4%、1株当たり純資産は2,436円98銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）の残高は664億55百万円となり、前連結会計年度末と比べ62億33百万円の減少となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減額
	自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,857	19,114	△10,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,285	△19,797	△21,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,686	△4,182	+18,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106	△1,390	△1,283
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	8,349	△6,256	△14,606
現金及び現金同等物の期首残高	71,491	72,688	+1,196
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	631	—	△631
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23	+23
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,472	66,455	△14,017

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は191億14百万円(前年同期比107億43百万円の資金の減少)となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益(283億84百万円)と減価償却費(90億31百万円)によるものです。また、減少要因は法人税等の支払(133億2百万円)と売上債権の増加(89億73百万円)によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は197億97百万円(前年同期は12億85百万円の資金の増加)となりました。主な資金の減少要因は、有形固定資産の取得による支出(237億28百万円)と投資有価証券の取得による支出(86億22百万円)によるものです。また、増加要因は有価証券の売却及び償還による収入(97億4百万円)と投資有価証券の売却による収入(40億21百万円)によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は41億82百万円(前年同期比185億4百万円の資金の増加)となりました。主な資金の減少要因は、配当金の支払(77億46百万円)によるものです。また、増加要因は長期借入による収入(45億円)によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績は、概ね予想通り推移しており、平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月13日に発表しました通期の連結業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示をいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(在外連結子会社等の収益及び費用の換算方法の変更)

在外連結子会社等の収益及び費用は、従来、当該子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は在外連結子会社等における短期的な為替相場変動の影響を排除し、期間損益をより適正に表示するために行ったものであります。

なお、この変更による損益に与える影響及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,244	67,304
受取手形及び売掛金	52,192	43,606
有価証券	13,727	22,653
商品及び製品	8,554	7,666
原材料及び貯蔵品	7,181	6,805
その他	7,922	8,074
貸倒引当金	△367	△299
流動資産合計	152,455	155,810
固定資産		
有形固定資産		
土地	49,683	46,946
その他(純額)	75,801	62,331
有形固定資産合計	125,485	109,278
無形固定資産		
のれん	3,586	4,149
その他	786	701
無形固定資産合計	4,373	4,850
投資その他の資産		
投資有価証券	117,304	119,287
その他	19,473	19,554
貸倒引当金	△348	△370
投資その他の資産合計	136,428	138,471
固定資産合計	266,287	252,600
資産合計	418,743	408,410
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,210	40,400
短期借入金	1,986	2,030
未払金	21,402	19,240
未払法人税等	6,736	7,982
その他	19,338	18,434
流動負債合計	96,674	88,088
固定負債		
長期借入金	13,507	9,869
退職給付引当金	18,071	22,470
その他	14,831	16,031
固定負債合計	46,410	48,371
負債合計	143,085	136,459

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	233,341	223,857
自己株式	△20,393	△20,448
株主資本合計	286,486	276,948
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	681	3,587
土地再評価差額金	△7,649	△7,682
為替換算調整勘定	△9,822	△6,600
評価・換算差額等合計	△16,790	△10,695
新株予約権	428	204
少数株主持分	5,533	5,494
純資産合計	275,658	271,951
負債純資産合計	418,743	408,410

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	278,630	279,982
売上原価	151,095	150,735
売上総利益	127,534	129,246
販売費及び一般管理費	103,324	102,624
営業利益	24,209	26,622
営業外収益		
受取利息	856	658
受取配当金	1,455	1,515
有価証券売却益	872	—
持分法による投資利益	998	1,258
その他	630	397
営業外収益合計	4,812	3,829
営業外費用		
支払利息	161	167
為替差損	—	2,153
その他	459	320
営業外費用合計	620	2,641
経常利益	28,402	27,811
特別利益		
固定資産売却益	10	13
貸倒引当金戻入額	83	—
投資有価証券売却益	3	848
その他	4	93
特別利益合計	102	954
特別損失		
固定資産売却損	8	2
固定資産廃棄損	255	101
投資有価証券売却損	60	—
投資有価証券評価損	112	169
関係会社整理損	181	—
減損損失	43	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	67
その他	3	41
特別損失合計	664	381
税金等調整前四半期純利益	27,839	28,384
法人税等	9,619	10,817
少数株主損益調整前四半期純利益	—	17,567
少数株主利益	363	295
四半期純利益	17,856	17,271

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	100,116	104,150
売上原価	52,396	55,504
売上総利益	47,720	48,645
販売費及び一般管理費	35,951	36,467
営業利益	11,769	12,177
営業外収益		
受取利息	198	157
受取配当金	679	541
持分法による投資利益	310	311
その他	145	152
営業外収益合計	1,333	1,162
営業外費用		
支払利息	57	69
為替差損	401	712
その他	37	80
営業外費用合計	496	863
経常利益	12,606	12,477
特別利益		
固定資産売却益	0	10
貸倒引当金戻入額	—	65
投資有価証券売却益	3	—
投資有価証券評価損戻入益	49	156
その他	7	—
特別利益合計	61	231
特別損失		
固定資産売却損	4	2
固定資産廃棄損	—	50
投資有価証券売却損	60	—
投資有価証券評価損	112	—
減損損失	42	—
その他	30	16
特別損失合計	250	68
税金等調整前四半期純利益	12,417	12,640
法人税等	4,871	4,800
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,839
少数株主利益	106	88
四半期純利益	7,439	7,751

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,839	28,384
減価償却費	6,735	9,031
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,044	△4,174
持分法による投資損益 (△は益)	△998	△1,258
投資有価証券評価損益 (△は益)	168	235
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,591	△8,973
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△607	△1,523
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,479	7,027
未払金の増減額 (△は減少)	618	2,390
その他	△1,618	△2,583
小計	35,069	28,555
法人税等の支払額	△13,733	△13,302
法人税等の還付額	5,063	1,523
その他	3,458	2,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,857	19,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,232	△3,370
定期預金の払戻による収入	—	2,334
有価証券の取得による支出	△0	△0
有価証券の売却及び償還による収入	6,302	9,704
有形固定資産の取得による支出	△9,035	△23,728
有形固定資産の売却による収入	50	47
投資有価証券の取得による支出	△13,435	△8,622
投資有価証券の売却による収入	20,793	4,021
貸付けによる支出	△1,402	△290
その他	244	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,285	△19,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△2,806	1
長期借入れによる収入	5,720	4,500
自己株式の取得による支出	△18,666	△3
配当金の支払額	△5,947	△7,746
少数株主への配当金の支払額	△57	△18
その他	△928	△915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,686	△4,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106	△1,390
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,349	△6,256
現金及び現金同等物の期首残高	71,491	72,688
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	631	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,472	66,455

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	即席めん及び 付随する事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	90,193	9,923	100,116	—	100,116
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,424	2,424	(2,424)	—
計	90,193	12,347	102,541	(2,424)	100,116
営業利益	11,124	850	11,974	(205)	11,769

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	即席めん及び 付随する事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	249,632	28,997	278,630	—	278,630
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,273	6,273	(6,273)	—
計	249,632	35,271	284,903	(6,273)	278,630
営業利益	22,338	2,382	24,720	(510)	24,209

(注) 1 事業区分は、製品の種類・性質等を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

(1) 即席めん及び付随する事業……即席袋めん、カップめん、チルド食品、冷凍食品

(2) その他の事業……菓子、飲料、外食事業

[所在地セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	89,336	5,656	5,123	100,116	—	100,116
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	—	228	(228)	—
計	89,564	5,656	5,123	100,345	(228)	100,116
営業利益	11,246	297	385	11,929	(160)	11,769

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	239,838	20,649	18,142	278,630	—	278,630
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	902	—	—	902	(902)	—
計	240,741	20,649	18,142	279,532	(902)	278,630
営業利益	20,946	1,814	1,938	24,699	(489)	24,209

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米……米国、メキシコ

(2) その他の地域……中国、ドイツ、ハンガリー

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	5,693	5,257	10,950
II 連結売上高（百万円）			100,116
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.7	5.3	10.9

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	20,789	18,523	39,313
II 連結売上高（百万円）			278,630
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.5	6.7	14.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米……米国、メキシコ

(2) その他の地域……中国、ドイツ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は持株会社制を採り、国内7事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席麺事業を中心に展開し、「日清食品」「明星食品」「低温事業」「米州地域」「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」「明星食品」「米州地域」「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温事業」はチルド製品及び冷凍製品を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	145,567	31,710	39,075	19,745	13,717	249,816	30,166	279,982	—	279,982
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	625	876	393	—	159	2,054	11,226	13,280	△13,280	—
計	146,192	32,587	39,468	19,745	13,876	251,870	41,392	293,263	△13,280	279,982
セグメント利益	16,536	1,813	2,041	1,060	1,013	22,465	1,632	24,098	2,524	26,622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに海外の欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,524百万円には、退職給付関係費用3,013百万円、のれんの償却額△562百万円、セグメント間取引消去等73百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	58,399	11,577	13,290	6,360	4,581	94,209	9,940	104,150	—	104,150
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	236	294	157	—	27	715	3,887	4,602	△4,602	—
計	58,636	11,871	13,447	6,360	4,609	94,924	13,828	108,753	△4,602	104,150
セグメント利益	8,342	1,081	772	391	257	10,845	529	11,375	802	12,177

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、
 外食事業等並びに海外の欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額802百万円には、退職給付関係費用1,003百万円、のれんの償却額△187百万円、
 セグメント間取引消去等△12百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。